



## 任期の終了に当たって

会長 古賀 靖子

全国のプロビアンの皆様、お元気でご活躍でしょうか。現在の日本が、いや世界が直面している難題が3つあります。まずは新型コロナウイルスのパンデミックです。日本は現在第7波の最中ですが、特に死者の重症度を見ますと、重症が第5波(去年夏)42%、第6波(今年初め)13%、第7波(今年夏)5%と下降し、中等症は57%、83%、89%と上昇しています。しかも死因が第6波まで肺炎が大半でしたが、第7波は肺炎なし、高齢者で持病の悪化による死亡へと変化しています。次いで地球温暖化による異常気象です。更には今年2月24日ロシアのウクライナ侵攻から世界秩序の瓦解が始まり、平和への不安が高まっています。いずれも解決は容易ではありませんが、多くの資源、技術、論議、人類こぞでの協力が必要だと思います。

ところで、北九州プロバスクラブが全日本プロバス協議会の会長クラブの重責を担うようになりましたのは、2018年11月の第8回総会・三重大会からです。それから2期4年間、北九州プロバスクラブで事務局を立ち上げ、全日本プロバス協議会の改革と発展に取り組んできましたが、今回の第10回総会で退任する運びとなりました。その間の3分の2は新型コロナウイルスにより、全国的に対面での行事が縮小乃至は中止されて出席がかなわず、人的交流を盛んにする会長クラブとしての任を全うすることができませんでした。しかも第9回総会・五所川原大会は2年に亘り計画して頂きましたのに実施に至らず、大変残念なことでした。そこで、全国の会員クラブ様には暫定総会、引き続き文書総会と苦肉の策で十分に意を尽くせないこともあったと思いますが、ご協力いただきましたことに改めて感謝申し上げます。

この様な対面での行事が行えないのを予見した訳ではありませんが、私ども事務局は基本方針の第1に会員間の情報交換をe-Mail等を最大限に活用し密にすることを掲げていました。会員クラブの情報や意見を中心に掲載する「ひろば」は第5号まで、全日本プロバス協議会事務局から提供する「ニュース」は今回が最後となりますが、No.8まで発行することが出来ました。また、ホームページを立ち上げたところ会員クラブからの情報提供も増え、ご協力いただいた皆様に重ねて感謝申し上げます。

最後になりましたが、もう直前に迫っていますが、今月11月24日の第10回総会・八王子大会(東京八王子2022)でお元気な皆様とご一緒に出来ます事を願っています。

また、4年間の任期中、全国の会員クラブの皆様に支えて頂きながら、ここまで任を全うすることができましたことに深謝申し上げます。更に皆様のクラブに所属する各会員の皆様の今後のご健勝ご健康を切に祈念申し上げます。

**全日本プロバス協議会ニュース(No. 8) 2022年(令和4年)11月10日号から**